



FC町田ゼルビア

ゼルビアウォーキング 1/2



Story

新型コロナウイルス感染症に伴い、クラブでは『#いまゼルビアにできること』を標語として、子どもたちの自宅学習支援を目的に『ゼル塾』の配信、ひとり親家庭の支援を目的に『おうちでできる簡単な遊び』、感染予防対策の啓発や医療従事者の方々へ応援ポスターの掲出など、行政・企業・町田市医師会・地域と連携した活動に取り組んでいた。活動のポイントは『クラブがやりたいこと』ではなく、地域の声をキャッチし『地域が必要としていること』であった。活動を企画・実施していく中「家に籠ることで運動不足になりがち」「外出する機会が減って食欲が減退したように感じる」という声を耳にするようになった。そこで、クラブが得意とする運動・健康増進施策を実施することが、町田市民が抱える課題解決へ繋がると考え、積み重ねてきたウォーキングイベントなどのスキームを活かすことで、楽しく健康増進を図れないかと検討を進めた。企画・実施においてポイントを整理することが望ましいと考え、3つに分類した。『三密を回避すること』『散策するコースが魅力的であり、町田市民が街への愛着を深められること』『協働者がそれぞれのリソースを最大限発揮できること』ポイントを意識した中で、町田市観光まちづくり課に企画案を提出、相談した。すると、二つ返事で早速アクションを起こしてくれたのだ。町田薬師池公園四季彩の杜西園の指定管理者であるNEST Machidaをご紹介いただき、三者で実行へ向けた協働がはじまる。町田市民にとって魅力的で、参加動機に繋がる仕掛けを如何に実現するか、上記の3つのポイントを磨き上げることで議論は白熱した。三密の回避については、実施期間・時間の幅を設けることで参加者を分散し、自分のペースで楽しむことができるよう設計し、手指消毒の徹底や物の共有・使いまわしを避けるなど感染予防対策を徹底。散策コースは、2020年6月にオープンした街の新たな魅力である町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲートをスタート・ゴール地点にすることで、施設内のカフェや地元野菜の販売所、自然豊かな景観や歴史文化等を楽しむことができ、町田市民が街の魅力を発見し、愛着を深めることに重点を置いた。また、参加者特典の用意、行政の広報発信など、協働者がそれぞれのリソースを最大限発揮することで、町田市民の参加動機、満足度向上が高まるのではないかと力を入れた。目的の共通認識、役割りの確認を徹底しつつ、協働者を増や

していくことで、初めての協働とは思えないほどに企画はスピード感ある中で進んだ。ただ、全てがうまくいくほど甘くはない。参加者目線を意識すればするほど『安心・快適に参加いただくための準備』『ガイドがない中でも最大限に魅力を感じさせる仕掛け』が課題として浮き彫りになったのだ。気兼ねなく参加でき、散策しやすいことが大切であると考え、何度も会場に足を運び、実際に歩き周ることで、魅力的な場所をチェックポイントとして設定し、初めて訪れる方も歩きやすいようなウォーキングマップを作成することに着手した。また、チェックポイントのPOPに熱中症対策や環境対策に関連したメッセージを盛り込むことで学びの要素を取り入れ、公園に隣接する町田ダリア園にも協力いただくことで植物の生育機会を創出することで課題解決へと向かうことができた。1人でも多くの方に参加してもらうため告知に注力する必要性を。クラブ公式でのリリースや行政のプレスリリース、町田市長定例会見でのイベント告知、各協働者のもつメディアでの広報発信で周知に全力を注いだ。いざ本番！コロナ禍ということもあり、参加意欲が高まるかという懸念材料もあったが、蓋を開けてみれば2週間限定開催の中、予想をはるかに超える833名が実際にウォーキングを楽しんだ。繰り返しの参加、自身の経験を身近な方に伝え新たな方が参加する好循環が生まれるなど魅力が伝わる取り組みとなった。『歩く』というシンプルなことに色々な要素が加わったことも魅力となった要因だ。アンケートからも「気持ちの良い環境の中で、密を気にせず楽しく歩くことができた！」「こういった企画を待ってました！」は最大の喜びとなった。また、協働した観光まちづくり課職員からは「気兼ねなく参加できるイベントであるため、参加者の満足度は非常に高く、西園と薬師池の良いPRに繋がった。今回のイベントで、新たに三者の『繋がり』ができたことも大きな収穫で、今後の展開が大いに期待できる」と協働に価値を生み出すことができた。その言葉通り、早速三者が別企画で新たなスタートをきった。今後は近隣の町内会自治会や地域団体にも関わっていただき、町田市民の健康増進、持続可能な地域づくりを実現していきたい。更には、スキームや協働方法を地域で共有しながら、様々な場所で取り組みが行われていくことを目指したい。

活動詳細情報はこちら

<https://www.zelvia.co.jp/news/news-156378/>



FC町田ゼルビア ゼルビアウォーキング 2/2



活動場所

町田薬師池公園四季彩の杜

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、住民、行政、社会福祉法人

協働者名

町田市(経済観光部観光まちづくり課・都市づくり部公園緑地課・環境資源部環境政策課・保健所健康推進課・地域福祉部障がい福祉課)、NEST Machida、社会福祉法人まちだ育成会かがやき、地域住民、ファン・サポーター

補足

コロナ禍でもやり方を工夫すればできることがある。スポーツの力を信じて取り組んだ事例として今回はこちらをエントリーします！2,000字に魂込めます！

